

小林鷹之からの手紙 子ども達のために！洋式トイレ？ エアコン？



菅 義偉 官房長官へ要請



木原 稔 財務副大臣へ要請

絆を力に。2017年 Vol.39 「討議資料」
衆議院議員
自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)

活動報告



3



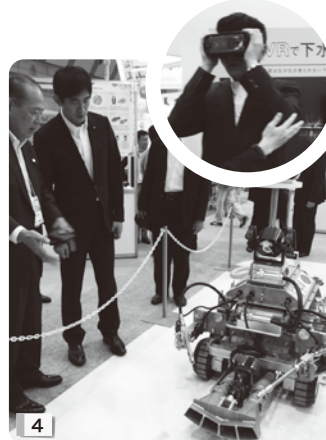
5



6



7



4



8



9



11



10



12



12



12

①②学校耐震化・施設整備促進議員連盟として③衆議院選挙後の初登壇。3期目のバッジの重みを④下水道展視察⑤自民党経済産業部会長代理として初会合⑥台湾の謝長廷代表と(台北駐日文化代表処にて)⑦国際会議で日本代表として発言(カナダ)⑧55か国の若手国会議員代表と(カナダ)⑨高校同級生による「応援の会」設立⑩3期目週末の地元活動は街頭演説から⑪世界一の技術を有する地元企業の視察(習志野)⑫秋祭りは、地元の方々との交流の場

習志野後援会谷津支部



習志野市谷津地区には、ラムサール条約登録湿地で渡り鳥が飛来する「谷津干潟」があります。干潟の周囲は自然生態観察公園として水鳥の観察をはじめ自然の変化を楽しむことができます。今の時期はカワセミの観察ができますので、是非お越し下さい。

小林鷹之



東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員3期目。前防衛大臣政務官。一女の父。

地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-5 YYビル1階
TEL 047-409-5842 FAX 047-409-5843
国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL 03-3508-7617 FAX 03-3508-3997

子ども達のために。 洋式トイレ？エアコン？

永田町は年末年始の予算・税制の季節。連日、朝から夕方まで議論に参加しています。

その中で、先般の衆議院選挙で頂いた3期目の議席。今期は、経済産業委員会、厚生労働委員会及び憲法審査会に所属し、選挙区の55万人の皆様の代表としての責任と誇りを感じながら、結果にこだわり、職務に邁進しています。

早速、11月中旬に3泊6日でカナダの首都オタワで開催された列国議会同盟(IPU)という国際会議に、日本の国会議員団の団長として参加。55カ国の45才以下の若手国会議員の代表が一堂に会し、難民問題、持続可能な経済成長、若者の政治参加等について議論。私も、日本の存在感を示し、日本の考え方や現状をしっかりと認識してもらおうべく、積極的に発言(久々の英語でした)。多くの刺激を受け、各国議員との人脈を築く良い機会となりました。

さて、今回は小中学校の耐震化対策、老朽化対策を取り上げます。地元の多くの皆様からご要望を頂くテーマです。

学校施設は、子ども達の学びの場、生活の場。同時に、地域に住む皆様にとつての生涯学習やスポーツなどの場所であり、更に災害時には避難所としての役割を果たしています。

表1
公立小中学校の
トイレの洋便器率(%)

千葉市	43.2
習志野市	40.9
八千代市	49.6
千葉県	45.3
全国	43.3

2016.4.1時点

耐震化対策

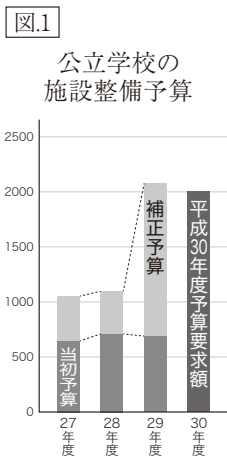
首都直下型地震等の可能性が指摘される中、公立学校については、千葉市、習志野市、八千代市を含め、全国的に概ね完了しています。しかし、例えば八千代市では、照明やバスケットゴール等の落下防止対策の未実施箇所があり、また私立学校の対策は遅れているため、早急な対策を講じる必要があります。

老朽化対策

本年5月に八千代市民体育館でミニバス大会中に天井から2キロの鉄具材が落下。一歩間違えれば大事故になりかねませんでした。安全確保は喫緊の課題です。

築45年を経過した学校は、外壁や窓の落下等により子ども達の安全を脅かす可能性があります。そして、災害時に避難所として使用する場合、トイレや空調の問題によつて避難者、特に高齢者などが不便を強いられるといった課題があります。また、自宅で洋式トイレに慣れている子ども達にとつては、和式で、かつ「臭くて汚い」トイレに行きづらく体調を崩す子どももいると聞きます。

文部科学省の調査によると、公立小中学校のトイレの洋式化率は、千葉市、習志野市、八千代市を含め全国的に十分に進んでおらず(表1)、洋式化を推進する必要があります。また、空調設備についても、夏季の教室の環境改善への要求が高まる中で、普通



教室における空調設備設置率は、東京都がほぼ100%であるのに対し、全国平均は49.6%、千葉県では44.5%に過ぎません。

このように学校施設の老朽化が進む中で、改修によつて地域の皆様の安全や子ども達の学ぶ環境を改善していく必要があります。

施設整備予算

自治体の財政が厳しい中で、学校の耐震化老朽化対策を進めるためには、国の支援が必要です。国の公立学校施設整備予算は、28年度までに耐震化対策がほぼ完了したため、29年度は老朽化対策、トイレ改修、空調設備などを中心に予算が計上されました。

与党の働きかけによつて補正予算が大幅に増額され、総額では前年度の倍の予算となりましたが(図1)、まだ足りません。今後、平成29年度補正予算や平成30年度予算の編成過程で、多くの予算を獲得していく必要があります。

私も、自民党の「学校耐震化・施設整備等促進議員連盟」の一員として、平成29年度補正予算及び平成30年度当初予算における学校施設整備のための予算確保のため、菅官房長官や財務省に仲間と共に強く要望してまいりました。

「国づくり」は「人づくり」です。未来を担う子ども達のために、教育水準の維持向上の観点から、安全で質の高い教育環境の整備に力を尽くしてまいります。

平成二十九年十二月吉日

衆議院議員
小林鷹之